

リカレントへの姿勢	グランドビジョン(2020~2029)	地域・産学官連携ポリシー
一昨年度、創基100年を迎えた京都女子大学は、女性教育の一躍を担い、女性をエンパワーメントしてきた。次の100年に向けて、様々なライフステージでの学びをサポートしていく。すなわち、建学の精神である仏教精神（=他者理解と尊重）に基づくSDGsへの理解と、これからの社会Society5.0に必要なITスキルを重要なファクターとした社会人のためのカリキュラムを構築し、生涯にわたる女性のキャリア支援、職業能力開発に寄与していく。 このリカレント教育は、ひいては、少子高齢化社会に於ける女性のM字型就労を解消し、日本のジェンダー指数の向上と日本社会の活性化に貢献することを目的としている。京都女子大学は、「女性の生きること」に寄り添い、「自分らしく活躍するための学び」を生涯にわたり支え続け、女性の幸福及び日本社会の活性化に寄与する存在でありつづけたい。	①ジェンダー平等の実現に貢献できる女性を育成します ②教育、研究の両面において、SDGsの達成に貢献します ③多様な学生が集まり、多様な価値観の中で、生涯学び続けることのできる大学を目指します ④世界の大学と連携して、人類に資する研究を推進します ⑤時代の変化に合わせて新たな価値を創造する大学を目指します	https://www.kyoto-wu.ac.jp/shakai/sangaku/policy.html

連携推進課・地域連携研究センター

事業部門

リカレント事業	戦略目標	地域・産学官連携事業
・平日通学コース運営 ・文科省補助事リカレント（マDX/ESGマネジメント人材育成コース、キャリア女性のリベラルアーツコース） ・女性リーダー・管理職育成コース（有料） ・データベースを蓄積し、研究につなげる（➡ジェンダー研究所との協働） ・京都府との連携リカレント（DX、2コース）	・社会課題解決の手段として「リカレント事業」「地域・産学官連携事業」を位置づけ、社会から注目されることで、京女のプレゼンスを向上させる。 【リカレント】（全体戦略は別紙） 外的リソース（補助金）を最大限に活用し、中長期的なリカレントを構築するための地盤固めとして、①DX/ESGマネジメント人材育成コースと②Dキャリア女性のリベラルアーツコースを実施し、検証する。また、文科省と企業から高い評価を得た昨年度の補助金事業「女性リーダー・管理職育成コース」を有料化し、本格リリースする。 【地域・産学連携事業】 連携プロジェクトを通じて、学生主体の産学連携をPRし、京女のプレゼンスに寄与する。	・地域連携講座運営（学部正規プログラム） ・公開講座 ・生涯学習講座 ・各種地域産学官連携事業 ・連携プロジェクト ・他大学との連携事業（大妻女子大学等） ・女性のためのリカレント教育推進協議会（会長校）運営 ・地域産学連携活動

4つの視点

視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）
財務の視点	・文科省補助金をとる（2023年度2種類） ・平日通学コース最低集客数目標 13人/年 ・パブリシティ 1件/年(広報効果 100万円)	【リカレント】 ・京都を代表するエクセレント・カンパニーへのヒヤリングをもとに抽出した企業の課題および社会的課題を解決するためのリカレント（①DX/ESGマネジメント人材育成コースと②キャリア女性のリベラルアーツコース）を補助金を活用して創設する。「女性リーダー・管理職育成コース」を有料化し、本格リリースする。 【地域・産学官連携事業】 私立大学等総合改革支援事業のポイントを意識して、ビジネスセミナー、特定の職業人（管理栄養士）を対象としたセミナーを開催する。	・生涯学習講座 売上 600,000円/年

視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）
顧客の視点	・ズーム相談 50件/年 ・池上彰によるリカレント説明会集客 100人 ・女性のためのリカレント教育推進事業イベント 120人/年 ＜アウトカム＞ ・リカレントプログラム満足度80％以上 ・リカレントプログラム有用性80％以上 ・リカレント修了生就職率60％以上 ・定員充足率80％以上 ・評価委員によるプログラム全体の評価3.5以上（4件法） ・出張講演会参加 2回/年	【リカレント】 ・リカレント受講広報手段として、説明会とズーム相談を活用する。 ・公共機関（大阪ハローワーク、コンソーシアム京都、京都府クリエイティブセンター）からの招聘講演を受け入れ、リカレントの広報手段として積極的に活用。 ・女性のためのリカレント教育推進協議会の会長校であるため、シンポジウムイベントを開催し、リカレントの水平的拡張に寄与する。 【地域・産学官連携事業】 ・キッズセミナーやビジネスセミナーを新規で開催。	・連携プロジェクト発表会 1回/年 ・公開講座、生涯学習講座開催数 40回以上/年 ＜アウトカム＞ ・満足度 80％以上

視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）
業務プロセスの視点	・コーディネーターミーティングの開催 1回/週 ・全体会議（センター長含む）開催1回/月 ・補助金リカレント実行委員会（実施委員会 4回/年 ・リカレント評価委員会 2回/年 ・教員審査 2回/年	【リカレント】 ・リカレントコーディネーターのジョブディスクリプション（職務記述書）の更新 ・リカレント実行委員会開催頻度の見直しによるスリム化（コストカット＆スクラップ） ・地域連携研究センター運営委員会頻度の見直しによるスリム化（コストカット＆スクラップ） ※会議は最も重いコストである（時給×人数×時間）。必要なもの（情報共有によるベクトル統一）以外は、できるだけ減らすべき。 ・産学官連携機関構成員によるラウンドテーブルを対面で実施し、本学の教育プログラムおよび産学官連携に関する意見を徴収する。 【地域・産学官連携事業】 ・ラウンドテーブルについては可能な限り対面で実施し、参加機関の本学へのコミットメントを向上させる。	・地域連携研究センター運営委員会 2回/年 ・ラウンドテーブル 1回/年
視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）
学習と成長の視点	・キャリアコンサルタント有資格者数 2人以上 ・エビデンス 分析による振り返り ・リカレントについての報告発表（学会）1回/年 ・寄稿論文書籍出版 1冊（3月～4月）	【リカレント】 事業をアンケート分析結果などのエビデンスベースで振り返ることにより、次年度のリカレントへ反映させる。（PDCAサイクルをまわす） 研究においては、新たに設立されるジェンダー研究所と協働する。 【地域・産学官連携事業】 アニュアルレポート執筆を通して事業の振り返りと次年度への反映を促す。（PDCAサイクルをまわす）	・アニュアルレポート報告 1冊/年